

# 長崎県の美しいまちづくり

雲仙市国見町神代小路編

こうじろくうじ

まちづくり人づくり

其ノ九

## 有原方面の江戸時代のまちなみ

明海を左手に見ながら島原方面に車を走らせ、右手に松原が見えたところで雲仙岳の方へ入ると、まるで江戸時代に迷い込んだかのようなまちなみに出会うことができます。

今回は、長崎県美しいまちづくり推進事業の重点支援地区の一つである雲仙市国見町神代小路地区をご紹介します。

賀鍋島藩神代領の陣屋が

あつた本地区は、情緒豊かな町並み景観を形成していますが、建物の老朽化と居住者の高齢化により伝統的町並みが失われつつありました。危機感を感じた住民が有志で「まちなみ保存会」を結成し、それを契機に地区の保存・修復が始まります。

「緋寒桜の郷づくり」、「疎水の清掃」などのソフト面の活動から、雲仙市による道路、水路

などの整備まで、官民協働で事業を進めています。

現在では、国指定重要文化財の「旧鍋島家住宅」を中心とした、重要な伝統的建造物群保存地区に指定されています。

江戸時代に建設された伝統的武家屋敷と、明治以降に建設された近代和風建築が違和感なく混在し、茅ぶきの屋根を持つ建物も当時を今に伝えています。

また江戸時代に行われた地割りをそのまま残した通りには、戦の際、矢が不足した時に引き抜いて利用したとされる矢竹の生垣や、石を投げて応戦するためには多数の石が乗せてある石垣が、当時を彷彿とさせるよう残されています。



本小路と矢竹の生垣



上小路と茅ぶきの家

温泉内にある「古湯地区」などで、官民協働によりまちづくりが進められています。あなたも、雄大な雲仙岳をバツクにまち歩きを楽しんでみませんか。

まち歩きの後は、熱量日本一の小浜温泉や日本で最初の国立公園に指定された雲仙温泉がお待ちしております。



上小路のまちなみ